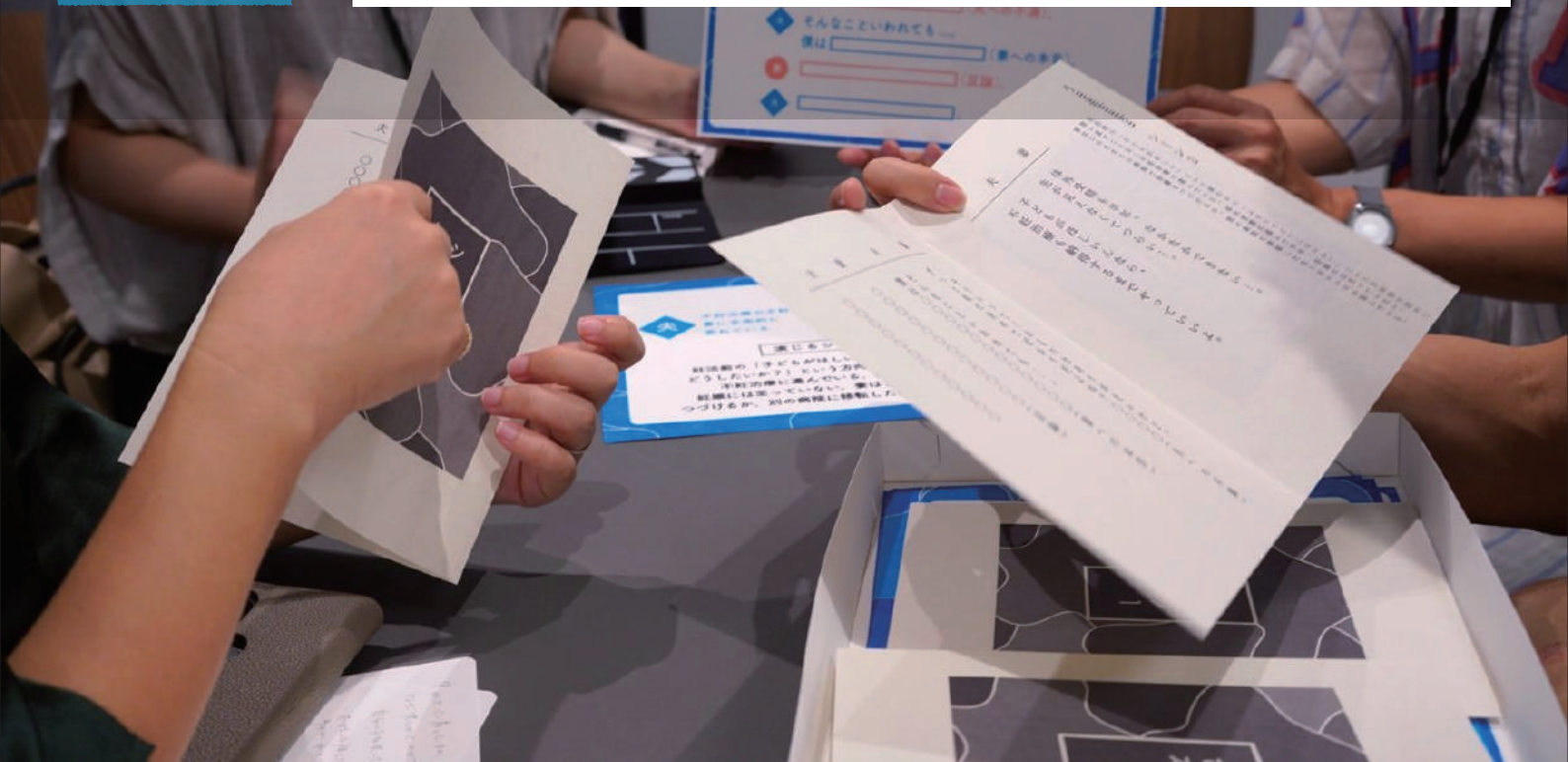


もやもやと私的な内発性からはじまる社会変容
ーケア、まちづくり、そしてソーシャルイノベーションへー



コロナ禍を経て都市の抱える課題はより複雑になり、市民のまちづくりへのニーズについても個別化・多様化が進んでいます。社会やまちに民主主義へのもやもやを抱えながら、地域で暮らすことや生きることの手触りを感じられなくなっている人が増えています。では、複雑な都市問題や個別化・多様化する市民のニーズに対して、私たちはどのように社会を変えていけばよいのでしょうか？第63回を迎える適塾路地奥サロンでは公共とデザイン共同代表の川地真史氏をお招きして、これからのソーシャルイノベーションについて対話を行います。

令和6年 4月 5日 (金)

18:30Start

会場 アルパック大阪事務所大会議室
およびオンライン開催

参加費 無料

※会場：先着申込順15名程度
オンライン：定員上限無し

申込方法 弊社HP若しくは下記URLの申込フォームから
4/4(木)までにお申し込み下さい。
QRコードよりフォームのURLの取得が可能です。



<https://forms.gle/ii1qCMXrn4CRUqKq9>

※お申込み出来ない場合は、①氏名②所属③電話番号
④メールアドレスを明記した上、
rojokusalon.arpak@gmail.comまでご連絡ください。

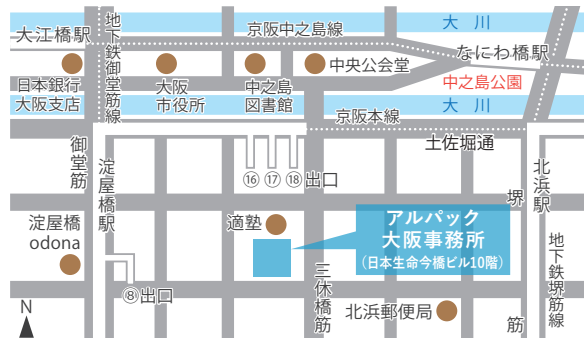


講師 川地真史氏

公共とデザイン共同代表 / 一般社団法人 Deep Care Lab
代表理事

Aalto 大学 CoDesign 修士課程卒。フィンランドにて行政との協働やソーシャルイノベーションを研究の後、現在はエコロジーや人類学、未来倫理などを横断し、あらゆるいのちへの想像力とケアの実践を探求。渋谷区のラボ設立伴走、産むを問い直すデザインリサーチ「産まみ(む)めも」、應典院「あそびの精舎」構想 / 運営、「多種とケア展」開催などプロジェクト多数。論考に『マルチスピーシーズとの協働デザインとケア』(思想 2022年10月号)、共著に『クリエイティブモクラシー』(BNN 出版)

アクセス



【主催・問合せ先】

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)大阪事務所
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10階
TEL:06-6205-3600 FAX:06-6205-3601
URL <http://www.arpak.co.jp>

適塾
路地奥
サロン

21世紀に入り、地域を取り巻く課題はより複雑化、高度化しており、単純なハードとソフトの融合というツールだけでは解決できない状況となっています。アルパックでは、今一度、多方面で活躍されている実践者や研究者の方々による具体的な活動や事業から「まちづくり」を見つめ直し、再定義し、「21世紀型の持続可能なまちづくり」のあり方等について、大阪事務所横の適塾のように「教えあい、学びあう」活発な意見交換を行いたいと考えています。